

各種地図調整・印刷／地理情報システム
立体地図・地図模型・地図パネル・地図掛け軸
オンデマンドデジタル印刷・大判ポスター出力



株式会社 **アルプス** 出版社

〒461-0004 名古屋市東区葵一丁目15番18号
オフィスサンゴヤ 6F

TEL 052-931-1009 FAX 052-932-1312
<http://www.alpspublishing.co.jp/>

あかいまん

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861

企画・制作：株式会社 新聞ビル

元氣のでてくる“ことばたち”

(173)

村上信夫



Nobuo Murakami

新人王にもなった。この体験のちに『ボックス！』に生きる。
大学在学中に、ABCテレビの恋愛バラエティ番組『ラブアタック！』の常連で出演していた。「かぐや姫」とい

でもらうことは叶わなかった。
同じスタイルはない
めまぐるしく作風が変わるといふか、一作ごとにジャンルが異なる。ただ人間観察の鋭さには、共通したものがある。そこに、何をどういう視点で取り上げたらいいか、どうすれば読者が喜ぶ

■村上信夫プロフィール

2001年から11年に渡り、『ラジオビタミン』や『鎌田 實いのちの対話』など、NHKラジオの「声」として活躍。現在は、全国を回り「嬉しい言葉の種まき」をしながら、文化放送「日曜はがんばらない」(毎週日曜10:00～)、ABCラジオ「osaka歴史ロマン」(毎週月曜18:35～)、月刊『清流』連載対談～ときめきトークなどで、新たな境地を開いている。大阪で『ことば磨き塾』主宰。1953年、京都生まれ。元NHKエグゼクティブアナウンサー。これまで、『おはよう日本』『ニュース7』『育児カレンダー』などを担当。著書に『嬉しいことばの種まき』『ことばのビタミン』(近代文藝社)『ラジオが好き!』(海竜社)など。趣味、将棋(二段)。
<http://murakaminobuo.com>

友、磯貝彦四郎の行方を追い、ついにその真相を知る。二人の運命を変えた事件の真相に男の生き様があらわ。見えないところで守ってくれている「影法師」…なかなか気づかない大切な存在がいることを、百田さんは、教えてくれる。

最新作『夢を売る男』は、作家志望者が失望しそうな出版社の内幕もの。高校ボクシングにかける青春群像を描く『ボックス！』。

『聖夜の贈り物』は、イブの夜、5人の女性に起きた奇跡の物語。

『モンスター』は、整形して絶世の美女になった女性の謎を追う物語。

『風の中のマリア』では、オオスズメバチの視点で自然の厳しき、美しさを描いた。

25年前に書いていた幻の処女作がもとになった『錨をあげよ』。永遠の理想の女性を、独断と偏見で求め続ける男は、百田さん自身に重なる。

そして、大作『海賊とよばれた男』は、現代の日本人が忘れかけている「勇気」や「誇り」を持った男たちの姿がそこにはある。そんな男たちを率いた一人の気骨ある経営者の人生。モデルになった出光興産の創業者、出光佐三の95年の生涯はまさしく凄絶としか言いようのないものだ。

百田さんは、「この男を書かねばならない!」「この素晴らしい男を一人でも多くの日本人に知ってもらいたい!」そ

人生っていいな

作家 百田尚樹さん

か…、構成作家として培ってきた勘が働く。
僕の一押しは、時代小説『影法師』。将来を嘱望された男がなぜ不遇の死を遂げたのか。下級武士から筆頭家老にまで上り詰めた名倉勘一は、竹馬の

多彩な内容は、多彩な体験から
1956年、大阪・東淀川生まれ。
勉強は嫌いで、一日中、遊んでばかりいた。ガキ大将で喧嘩は強かった。関西によくいる「しょうもないことばかり言うおしゃべり」だったそうだ。作文は苦手だった。

高校を出てぶらぶらしていたら、出ていけと言われ、しかたなく勉強して同志社へ進む。
このあたりは『錨をあげよ』に重なる。大学で3年間ボクシングに熱中し、

う称号の、すごく綺麗な女子大生に男子学生が、あの手この手でアタックし、くす玉が割れたらカップル成立。だから「はじめアタッカー」と烙印が押される。百田さんは、伝説的な「はじめアタッカー」だった。だが、番組での自己PRをスタッフに注目され、放送作家への道を歩む。大学は5年で中退した。関西発の人気番組『探偵ナイトスクープ』の構成作家を番組発足以来、ベストセラー作家になった。いまでも務めている。構成作家の百田さんが、小説を書くと思ったのは、「テレビは一過性100%自分の仕事といえるものを形に残したい」と考えたからだ。



俳画／イネ・セイミ

インディアンフルート教室
開講しました。
誰でも気軽に始めます。
入会受付中!!

何か始めたいと思ってる貴女へ、数年後、素敵にフルートを奏でる姿がそこにあります。楽しく個人レッスン致します。

講師 **イネ・セイミ**
(フルート奏者 指導歴30年)
1レッスン・1時間5,000円(チャイム代付)
0569-89-7127
seimine@oasis.ocn.ne.jp

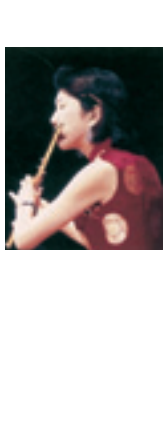
俳画教室開講中

常滑屋
とき 月二回 第二・第四金曜日
午後一時～三時

会費 一回 二、二五〇円(三ヶ月分前納制)
問合せ ☎〇五六九三三〇四七〇

イネ・セイミプロフィール

フルート奏者として活躍中。俳画家。
絵画を幼少より日展画家の(故)川村行雄氏に師事。俳画を華道彩生会家元(故)村松一平氏に師事。俳画の描法をもとに、少女、猫等を独自のやさしいタッチで描いている。個展多数。



嬉しいことばの種まき

好評発売中

「モットーとして、同じことはやらない。だが、作品の方向性は一緒だ。『人生っていいな』と思ってもらえる作品を書いている。人生を肯定し、人が生きることの素晴らしさを描くことが、作家のテーマだと思っている。」

「これは遠い昔の話ではない。誇りをもち、日本を復興へと導いた男たちがいた。自信を失った現代の日本人に、彼らと同じ血が流れていることを知ってほしい」と百田さんは語る。

「この作品は『小説』という形を取っているが、登場人物はすべて実在し、ここに描かれた出来事は本当にあったことだ。小説は、戦後日本企業の知られざる快挙「日章丸事件」を掘り起こし、国家と社会のために奮闘した男たちの生きざまを描き出し、現代人に「渴」を与えている。」

杉本武之


**知多の新
発酵ケイ**
 (有)知多エッグ
(有)知多
 知多郡
 TEL05

「この四ヶ年が／わたしのどんなに楽しかったか／わたしは毎日を／鳥のように教室でうたつてくらした誓て言うが／わたしはの仕事で／疲れをおぼえることはない。」



杉本武之プロフィール
1939年 碧南市に生まれる。
京都大学文学部卒業。翻訳業を経て、小学校教師になる。2年間、西尾市の小中学校に勤務。定年退職後名古屋大学教育学部の大学院で学ぶ。

料理研究家 長澤晶子のSPEED★COOKING!

簡単! ハワイアン・パンケーキ

ハワイ発祥のもっちり、やわらかいパンケーキを
甘酸っぱい苺をたっぷり添えて、ひなまつり、卒業祝いの
パーティーにいかがですか?

- ④ フッ素加工のフライパンを強火で熱し、火を止め③をお玉にすくい、一気に流す。30秒ほどそのままにする。
- ⑤ ④を弱火にし、周りがカリッとなってきたら裏返す。
(※焼色はうす目に調整)
- ⑥ ⑤を竹ぐしでさし、粉っぽさがなければ取り出す。
- ⑦ ⑥を冷まして皿に盛りつける。
好みで生クリーム、フルーツを添える。

二時～(同五時) 入場無料
問合せ 常滑市教育委員会
生涯学習スポーツ課 ☎43
5111 名古屋芸術大学
広報企画部 ☎05681-
10359

▼カンタービレひまわり
周年記念コンサート・三十
二土開場 午後六時 開演
同六時半(同八時半) 入
無料 問合せ カンタービ
レひまわり ☎43-327
(三国)

◎常滑市立図書館

▼虹彩会油絵展(九日土)
▼常滑高等学校教職員展・
日(日)・二十日(水・祝)
▼常滑水彩画会展・二十二
(木)・三十一(日)

◎とこなめ陶の森資料館

▼陶芸研究所作品展・三十一(日)

◎常滑市体育館

▼常滑カップジュニアバ
ケットボール大会・二日(土)
三日(日)

▼歩こまいととこなめ・十二
(日)

▼県レク卓球連盟卓球大会
十六日(土)、三十日(土)
▼県高校リーグ卓球大会
十七日(土)
▼春季中学生バレーボール
室二十日(水・祝)
▼卓球尾東地区普及大会
二十三日(土)
▼愛空塾空手道競技大会
二十四日(日)
◎南陵公民館
▼青少年体験活動支援セ
ターだより わくわく体験
室 おもしろ科学実験・十
日(日) 午前十時～同十一
半 内容 おもしろ科学実
験ヤッパン場所によるい
な科学実験 場所 常滑市
ザンアリーナ 対象 市内
学一年～六年生・二年生
(保護者同伴) 定員 五十
(抽選) 受講料・材料費
料 持ち物 筆記用具 申
み期限 七日(木) 申込み
問合せ 青少年体験活動支
援センター 詳細は学校公
館で配布するチラシまたは

誠意をこめて安心のお手伝い
年中無休・24時間体制

 (有) 大阪屋葬祭

常滑ホール 鬼崎ホール 阿久比ホール

TEL<0569> **35-4949** (代表)

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』 就職

— 自分ドラマつくろう — (23) 岡田 清治

不倫

「遅くなりました」

「うまく抜けて来られたね」

「誘われたのですが、断ってきました」

「そうか。悪かったな」

「前島さんに会えるので、うれしくて…」

「ボクもだよ」

「本当ですか」

二人は抱き合いながらチークダンスをした。曲が変わったので二人はテーブルについてワインで改めて乾杯した。

「この前、全体会議のあった朝、Yと会っただろう。何か聞かれたの」

「前島さんが飲む約束をされた方ですね。いいえ。朝の挨拶を交わしただけです」

「そうか」

「何かあったのですか」

「いや、とくには…」

「今日の帰り際、来週、配属が決まると次長から伝えられました」

「あのような発表があった後だから、尋常ではないだろうな」

「多少、不安です」

「今日は嫌なことを忘れて飲もう」

そのうち二人はシャワーを浴び、パジャマに着替えてベッドに潜り込んだ。と思うや激しく抱き合い、魂と肉体を燃焼し尽くした。

「違う部署に移っても、会えるね」

「ええ…」

翌朝、二人は別々にホテルを出て帰路についた。月が変わった月曜日の朝、前島は部長から天野の配属先を聞いた。

「本社営業部ですか」

「天野さんには君から伝えてください」

「はい…」

前島は席で資料に目を通している天野を一瞥した。その時二人の目が合った。

「ちよつと、応接室に来てくれるか」

天野は前島から少し離れて後に続いて応接室に入った。

「先ほど部長から天野さんの配属先を申し伝えるようにいわれた。今日まで本当にご苦労さまでした」

前島はひと呼吸置いた。天野が手元から離れていくことに強烈な寂しさを感じていた。

「課長、配属はどちらですか」

「どこだと思っ」

「研究所ではないのですか」

「本社営業部です。金曜日の午前十一時に本社人事部に行つて辞令を受け取つて営業部のM課長を訪ねてください」

「今週の金曜日、例の横浜のホテルで会える？」

天野は手帳を見ながら「大丈夫です」と答えた。

「そう、では同じ夕食の時間でいいね」

天野との逢瀬が難しくなるが、かえつて社内では目立たないとも思えた。

天野は営業本部に配属になったことで内心面白くなかった。海外勤務のチャンスはあるかも知れないが、新米社員にやらせることはないだろうと思った。

金曜日の朝、研究所に出て部内の人たちに挨拶をして本社に向かった。人事部で辞令を受け取った後、一階の営業本部に行つて、受付でM課長の面談を依頼した。

「すぐ課長席に来てほしいということです」

受付の女性は笑みを浮かべて天野に伝えた。その笑いが何を意味するかはその場ではわからなかった。

「天野です。よろしくお願いします」



ラバウルの市場前で(著者撮影)

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を左記のFAXかメールでお寄せください。今回は「就職」日本のゆくえ「結婚」「夫婦」についてです。物語が進行する中で織り込むことを試み、一緒に考えます。

FAX…0569-34-7971

メール…takamitsu@akai-shinbun.net



■プロフィール

著者…岡田清治おかだせいじ

一九四二年生まれ ジャーナリスト

(編集プロダクション・NET108代表)

著書に『高野山開創二百年 いっぱんさん行状記』あなたは社員の全能力を引き出せますか!』『リヨンで見た虹』など多数

「研究所から来たんだね」

「はい」

「ここでは営業庶務の仕事をしてもらいます。昼間はお客さまが来店するので、夕方、残業となりますが、いいですね」

「…」

天野は前島との約束があったので、躊躇したが初日から上司の命令に逆らえないと思い直し「わかりました」と、か細い声で返事をした。

天野は残業で残るように言われたことを前島に伝えるために研究所に電話を入れたが「前島は直帰する」と伝えていた。このままでは失礼なことになると携帯に電話をかけた。呼び出し音が鳴っているのに向いに出ない。時間をおいて三回かけても同じであった。

前島が独身かどうかを確かめたいという気持ちもあつて思い切つて自宅に電話を入れた。留守テルであった。「やっぱり」となんとなく安堵した。

留守テルは女性の声であつたが、もともと組み込まれたサージャックのものと別に疑うこともなかった。

「私、天野ですが、本日の横浜での約束、行けなくなりました。すみません。変更してください」

天野は伝言を伝えたことでほつとした。

恵美がいつもより早く帰宅すると、留守テルのランプが点滅していた。夫からの伝言だろうと思いながら再生ボタンを押した。恵美は「天野」という名前、まったく聞き覚えがなかった。それにしてもなれなれしい、あたかも恋人のように甘えた声が聞こえる。

もし、仕事の関係なら会社に連絡すればいいのではないかと。社内では都合が悪いのだろうか、緊急であれば携帯で呼び出せばいいのではないかと。どうして自宅までかけてきたのか。次からつぎと疑念が湧く。

恵美は夫から「今日は遅くなる」と聞いていたので、仕事の関係だろうと、天野の電話を聞くまでは疑いもしなかった。

自分もマイペースで生活しているが、隠し事は一切していない思いがある。海外出張の時も、宿泊ホテル、予定を伝えていた。現地から電話もした。

この留守テルの声を聞いて思い当たることがあった。以前金曜日、夫は初めて無断で外泊した。そんなことはこれまでなかったことだ。その後、外泊とは言わないが、遅くなると言い残して必ず外泊した。それでもこれまで疑うことはなかった。

夫の前島は遅くなるかも知れない、ひよつとしたら外泊になるかもという疑念が頭を横切ったが、すぐ忘れた。

そう言えば、先日、夫の背広をクリーニングに出すとき、ポケットの中から横浜のホテルの領収書が出てきた。接待費を含めた額だから相当な金額が打ち込まれていた。恵美はそれをなにげなしに洋服箆笥の小引き出しになおしておいたことを思い出した。

恵美はホテルを確認しようと電話を入れた。

「はい、本日、ご夫妻でお泊りになると予約を承っています。まだ、チェックインされていませんか」

「ご夫妻?」

恵美は反射的に聞き返した。

「はい、ご夫妻のお名前をうかがっています」

「天野という女性での予約は入っていないですか」

「ちよつとお待ちください」

恵美は疑念を抱きながら待った。

「そういう方の予約は入っておりませんが…」

「そうですか。伝言をお願いしたいのですが」

「はい」

「本日、急用のため行けなくなりました、恵美と伝えてください」

「承知しました」

恵美は天野という女性と関係ができていると確信した。夫は今夜帰ってくるのか、それとも予約したのだから泊まってくるのか後巡した。

夕食もそこにワインを持ちだして飲み始めた。酔いが回ってくるにともないいろいろなことが頭の中を駆け巡った。

それは大学四年生の夏の終わりの頃だった。恵美も恋人の井上陽介も就職先が決まり、山登りサークルとは別に二人で谷川岳に登ることにした。その頃の二人は同様に近い大学生活を送っていた。井上陽介は兵庫県の潮来市の出身で苦学生であつた。コンパで知り合った恵美は山登りサークルに誘った。それ以来、親しく付き合っていたが、三年の終わりがくる生活が苦しいのでサークルをやめると言いだした。

「そんなに苦しいなら私のマントションに住めば」

「本気かよ」

「本気もなにも、陽介と一緒にいたい」

「そうか」

二人は就職も内定していたので、谷川岳に思い出の登山をするることになった。新潟県と群馬県の県境にある谷川岳連峰は首都圏からも近く人気があつた。一ノ倉沢穂高岳、剣岳と並ぶ日本三大岩場に数えられ、とくにロッククライミングをする若者を引きつけていた。それだけに遭難事故も群を抜いてワースト記録を更新していた。

二人はJR上越線土合駅に行き、そこからロープウェイを利用して天神平駅まで上り、さらにリフトを使って天神峠に着く。峠から尾根づたいに二時間半歩くと頂上に着く。途中、急な木道があつて滑りやすい。頂上から引き返す頃、霧が発生、やがて雨が降ってきた。山の天候は急変するから気をつけないといけない。とくに谷川岳は雪道も多く、すべりやすい。

「恵美、気をつけろ」

「はい」

と恵美が返事した瞬間、陽介は足を滑らせて尾根から岩の谷間に滑落したのだった。

「陽介さん…」

「どうされたのですか」

二人の後を追うように下りてきた男女数人のグループが茫然と立ちすくむ恵美に声をかけた。

「陽介さんが足を滑らして…」

恵美は必死で谷の方角を指差した。

「ここから携帯は圏外なので天神峠駅で連絡をしてもらいましょう。いっしょにわれわれのロープをつかまりながら下りてください」

その日は夕暮れが迫り雨も激しく降っていたので、捜索隊は翌日、早朝から山に入り、陽介の遺体を引き揚げ土合駅まで運び、そこから近くの火葬場で荼毘にふされた。

恵美は陽介と過ごした思い出が走馬灯のように駆け巡り、このころの髪に張り付いていた。それでも大学生活はこれまで通り続け、山登りサークルは休部願いを出していた。



車いすで *Shall we Dance?* 榎本宣子

目を見張るような清々しい感動的な場面や素晴らしい人間に出逢いたいと、いつも願っていてもそう簡単に出逢えるものではありません。感動的な場面や素晴らしい人間というのは、目を凝らし長い時間をかけて見えてくることもあるのです。

できることをみつける指導者へ

2005年3月スーパージャパニックカップダンス2005車いすダンスクラスーラテンアメリカン第6位入賞。競技に向けて共に努力した車いすダンサーの長谷川千嘉さんと幕張メッセの広い会場に立ちました。拍手と喝采、まばゆいライトの中、心地よい高揚感と達成感で踊ってから8年。華やかな感動とは違う、じわりじわりと感じてくる感動もあるのです。それを気づかせてくれたのは、車いす

や電動車いす、全盲の方、様々な障がいのある仲間との、拍手も喝采もない車いすダンスでした。

車いすダンスインストラクターとしての活動。初めて車いすダンスを体験する方には、まず私の手と手をつないでもらいます。最初は緊張でぎこちなかった手が、ダンス用車いすの軽やかな動きと音楽のリズムで、柔らかなぬくもりに変わってくるのを感じます。心が震え楽しさで弾んでいるのが、握った手から伝わってきます。

競技で踊るとき、二人にとって最高の位置や空間があります。近づきすぎるとは踊りにくいし、離れすぎるとは相手に動きが伝わらないのです。離れていても相手の動きがわかるようになるまで練習を重ね、その空間を見つけていきます。車いすダンスの指導を重ね気づいたことがあります。緊張でいっぱい

いこの相手との最も良い空間、それは相手と対峙し心を添わせないと見えてきません。相手をしっかりと見る、できないことを探すのではなく、できることを探すのです。そんな小さな積み重ねが、可能性を広げ様々なものを気づかせてくれるようになりました。

車いすダンスご存知ですか？

車いすダンスは、障がい者と健常者のコミュニケーションが、ごく自然に行われてきたヨーロッパの歴史の中で自然発生的に始まりました。

その後、車いすに乗っている方（ウィールチェアードライバーと呼びます）と健常者（スタンディングパートナー）がコンビを組んで踊る方式が主流となり発展してきました。現在は、コンビスタイルに、車いすダンサー同士がペアになって踊るデュオスタイルも加わり競技が行われています。

車いすダンスは、競技スポーツという面以外にも、障がいの種類や程度・年齢・技術に合わせ、ダンスの種類（モダン・ラテン・民謡・フォークダンス・新体操など）や方法を変えられるという点で、「生涯スポーツ」に適した面もあわせ持っています。

一般の車いすでも、ダンスを楽しむことはできますが、ダンス用車いすの使用で、少ない力で、より速い動きや、回転が可能になり、

音楽に合わせて踊る車いすダンスは、リハビリテーションとしても大きな効果を持っています。他の障がい者スポーツと大きく異なる点は、障がい者と健常者が協力しあいひとつの目標を達成する点にあります。

「障がい」があることは マイナスでしょうか？

車いすダンスの仲間には、車いすはもちろん、電動車いすの方もいます。ホノルルマラソンに毎年参加している車いすランナーもいます。

人には様々な個性があります。体型にも、背の高い人、低い人、ふっくらした人、細い人と個性があるように、性格にも、おっとりした人、てきぱきした人とそれぞれが、個性を持って助け合い、尊重し合い社会を作っています。

「障がい」があることも、歩けなかったり、あるいは腕がなかったり、それも個性の一つです。たまたま歩ける人が多く、腕が二本ある人が多くいるから違うように見えるだけなのです。障がいのあることをマイナスと考えるのは、大人だけのように思います。幼い子どもは、誰と比べることもなく本物を見極める力を持っています。

私は車いすダンスの指導者として、一人でも多くの方に、その楽しさを体験してもらいたいと願っています。音楽に乗ってからだを動かすダンスは、からだは勿論、心にも大きなリハビリ効果があり、必ず生活を豊かにしてくれるはずです。家から出て、友人を作り、女性なら美しく装い、ダンス用車いすで、軽やかに音楽に乗って踊る。その結果もたらししてくれる成果は、輝くような美しい笑顔と、健康と若さがあります。しかし、練習の場で体験してもらい、その



楽しさを理解してもらうまでが、難しいのです。

新しいことへの体験はだれでも臆病になります。ましてや障がいがあるとなおさらです。そんな時、車いすダンサーの鈴木たか子さんの説得力と行動力が私を助けてくれました。家にこもりがちな障がいのある方を「可能性のある場」へ導いてくれる力です。様々な障がいのある方が車いすダンスのメンバーに加わり、暗かった表情が明るくなり、自信にあふれて踊るようになりました。ためらったり、立ち止まったりする方を、時には愛情をこめた強引きでひっぱり、



はげまし、大いなる才能とパワーでメンバーを増やしてくれました。たか子さんは15年前の事故で下半身完全麻痺になりました。長い闘病生活があったそうです。不屈の精神を持って、今日に至るまで考えられないくらいの葛藤があったことと思います。様々な場面でリーダーシップを取り、たか子さんご自身が活躍をされています。何よりも素晴らしいのは、自分が楽しむだけでなく、同時に周りの方、特に障がいのある方を明るく照らしてくれることです。

私は仕事で若い学生と接する場が多くあります。いくつもの不満を抱え、誰かのせいにながら暮らしている若者に出逢うことがあります。そんな時、私の素敵な車いすダンス仲間、たか子さんの話をすることにしています。

あなたも車いすダンスの 扉を開きませんか？

私一人の力では何もできないけれど、私の周りの素晴らしい仲間と、これからも車いすダンスの楽しさを伝えていこうと思います。あなたも、車いすダンスで感動的な場面や素晴らしい人間と出逢いませんか？

■榎本宣子プロフィール

- 西尾市在住
- 桜花学園大学・西尾市立看護専門学校非常勤講師
- 日本車いすダンススポーツ連盟インストラクター
- 車いすダンススポーツ東京グランプリ競技会ラテン・モダン部門入賞
- 2005年スーパージャパニックカップダンス車いすダンスクラスーラテンアメリカン6位入賞
- 西尾車いすダンスボランティア部代表

わが家のニューフェイス



榊原 千遊(1才11ヶ月) 武豊町梨子ノ木

写	ぼ	ん	し	東	し	お	る	遊											
真	う	お	み	を	ジ	ば	の	ぶ											
・	ね	母	で	し	ア	あ	が	の											
文	！	さ	す	て	ム	ち	一	大											
		ん	。お	く	に	ゃ	番	好											
		さん	ば	れ	通	ん	の	き											
		一	あ	ま	れ	が	来	だ											
		緒	ち	し	行	ア	し	し											
榊		に	ゃ	。と	っ	ン	み	、											
原		た	ん	っ	く	マ	で	ア											
		く	お	て	れ	ン	す	ニ											
美		さん	父	も	る	ミ	。今	メ											
菜		遊	さ	業	約	ユ	度、	を											
子							見	で											



愛とMy Family



谷口 奈々美(4才) 智哉(3才) 常滑市飛香台

写	ん	ど	稚	大	ど	て	し	っ											
真	だ	。お	国	好	い	遊	た	も											
・	。よ	姉	マ	き	ろ	ん	り	二											
文	う	ち	マ	な	ん	で	。飯	人											
	し	ゃ	と	ん	な	い	面	で											
	く	ん	離	。を	事	る	ウ	ブ											
	収	が	れ	4	教	。イ	リ	ゃ											
	。お	い	の	月	え	ケ	キ	ん											
谷	お	ら	は	か	て	ン	ア	が											
口	姉	ら	叙	は	く	ゴ	の	い											
	ち	び	し	ほ	れ	。ダ	ん	の											
	ゃ	強	い	僕	る	こ	だ	お											
仁	ん	い	け	も	か	を	。ス	姉											
美	。い	幼	幼	ら	け	し	を	に											



人と人をつなぐ
『かけ橋』になりたい



タオル・繊維商品及び輸入雑貨等総合卸

名城商事株式会社

愛知県名古屋市中川区乗越町1丁目37-3
TEL <052>362-1531(代)

2011年4月から小学校でスタートした「新学習指導要領」には「新聞」を活用した授業の実施が盛り込まれています。

“ゆっくり読む”ことで「使える知識」が身につくと言われています。

子どもの
学力をはぐくむ「スロー・リーディング」のすすめ

週1回
12ページ
中日こどもウィークリー
なら

お子様の習慣づくりに最適な情報量です。

スロー・リーディングのポイント！

- ❶ 難しいことばが出てきても、とりあえず最後まで読みとおす
- ❷ 漢字や熟語の読みや意味、ことわざやカタカナことばなどの意味を推測してみる
- ❸ 気になることばは辞書などで調べてみる
- ❹ 自分で調べて分かなければ、身近にいる人に教えてもらう
- ❺ 地名や国名が出てきたら、地図帳で位置を確認してみる

購読のお申し込みはあかい新聞店まで

武豊店 ☎ 72-0356 常滑店 ☎ 35-2861

毎週土曜日発行

月額450円(税込)

- タブロイド判、12ページ、オールカラー
- 配達エリアは中部9県です。
愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、長野県、滋賀県、福井県、石川県、富山県
※一部配達できないエリアがあります。

東
良寛と比較する
古今東西の偉人たち
西

私には良寛という人間に魅了された、ほとんど恋する思いで良寛を追いつけた。そして、明けても暮れてもこの永遠の偉人のことを、いろいろな角度から考えていました。私の知っている古今東西の偉人たちに比べました。同じ日本人ではありません。あの日、涙がこぼれ、良寛の前ではすっかり脱帽したのです。

どうだい、
わが恋人はすごいだろう。
(あながきより)

慈愛の人
良寛
杉本武之

四六判●上製カバー装
ISBN978-4-88520-145-5

良寛と時空を超えた
東西の偉人たちとを徹底比較
半世紀にわたる研究成果がここに結実
良寛はボランティアの先駆者だった

発行：ちたろまん
発売：中部経済新聞社
定価：2,100円
本のご注文はあかい新聞店へ